



インテンシブイングリッシュ(理工学部)

外国人教員による特別プログラム

実施日: 2022年4月27日~2022年7月20日

実施方法: Zoomオンライン

リーダー: 理工学部物質・環境類2年 トラン ミンクェ / 理工学部物質・環境類2年 篠原茉緒(副)

講師: 群馬大学非常勤講師 Deanna Clause先生



【概要】

本講義は、外国人講師の指導のもと、英語でプレゼンテーションのスキルアップとコミュニケーション能力の向上を目的としている。また、国際的な社会問題を取り上げ議論することにより、グローバルフロンティアリーダーになるため学生たちの国際的な視点を養う。

参加者は理工学部のGFL 2021年度生18名で、Zoomを利用してグループごとにディスカッションを行い、最終的に発表する形式であった。

【実施内容】

実施スケジュール:

日付: 4/27(水), 5/11(水), 5/18(水), 6/1(水), 6/8(水), 6/15(水), 6/22(水), 6/29(水), 7/6(水), 7/13(水), 7/20(水)

時間: 17:40~19:10 1日1コマ 計11コマ

活動内容:

序盤

まず自己紹介を行い、行きたい国、英語習得のモチベーションとGFLへの志望動機をテーマとして、学生たちが自分自身の意見を英語で自由に述べた(図2)。友達同士で気楽に話せるような空間であった。

前半

「より良いプレゼンテーションに必要な要素」をテーマにTED Talks を視聴し、グループでディスカッションを行った(図3)。更に各自でも動画を探して視聴し、勉強になったところをまとめてGoogle Classroomを用いて発表した。

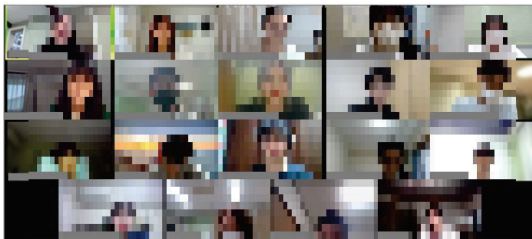


図1. 集合写真



図 2. GFLへの志望動機

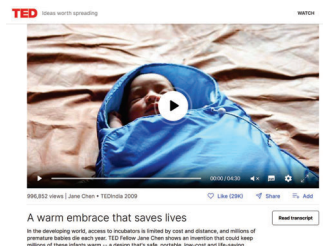
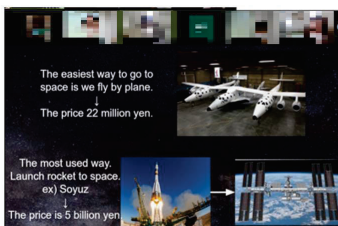


図 3. TED Talks視聴風景

後半

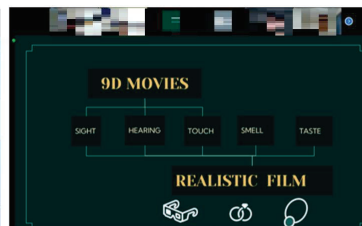
少人数のグループで、グローバルな問題を解決できるテクノロジーについてアイデアを考案し、プレゼンテーションやディスカッションを行った。各グループが考案したアイデアやテーマをもとに、6月の中旬からプレゼンテーションの準備を開始し、そこから4週間グループ内で協力して完成させた。4グループのテーマはそれぞれ“Space and moon travel”, “3D Internet”, “Realistic film”, “Translation contact lens”であり、各々が調べたことを元にパワーポイントを利用して興味深いプレゼンテーションを作成した。



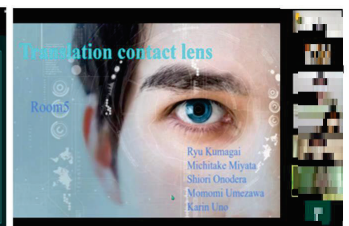
Space and moon travel



3D Internet



Realistic film



Translation contact lens

図4. 発表風景

【まとめ】

インテンシブイングリッシュでは半年を通してより良いプレゼンテーションの仕方について多く学ぶことができた。小人数ごとに分かれて行ったTED Talksに関するグループディスカッションでは、より良いプレゼンテーションにするための有力なヒントを互いに共有した。例えば、なるべく簡単な表現を用いる、見やすいパワーポイントにする、言葉に間を設けるなど、自分では気づくことのできない**多角的な視点**を取り入れる良いきっかけであった。この講座での学びの集大成は科学の専門分野に関するプレゼンテーションであったが、グループで協力して準備し発表する必要があるため、**チームワーク**を育むよいトレーニングとなった。また、もちろん発表は英語で行わなければならないのでより適切な表現になるようにできるだけ英語の記事を参照して原稿を作成した。英語で書かれている記事は日本語の記事よりも海外の事情を深く説明している物が多いので、英語のリーディング力向上に役立っただけでなく、**グローバルな視点**を広げることに繋がった。

【感想】

最後に個人的な感想ではあるが、まとめ役の立ち位置としてグループディスカッションを進めていくにあたり、メンバーの話をよく聞き最後に意見をうまくまとめる必要があったため、**ファシリテート力**はかなり鍛えられたと思う。このスキルは今回の講座に限った話ではなく、社会でグループディスカッションを行う際にも重要な力であると思うので、学んだことを忘れず今後も自主的にスキルを磨き続けていきたいと思う。